

～北九州市洋上風力キャンプ×SDGs～

## 大学・高専向け洋上風力発電研修

令和8年度 募集要領



## 研修プログラム(予定)

日程		研修内容(予定)
1日目 (8/31)	午前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・チームビルディング</li> <li>・講義1 我が国の洋上風力政策の現状について (経済産業省資源エネルギー庁)</li> <li>・講義2 脱炭素社会への挑戦 (東京大学名誉教授 荒川 忠一)</li> </ul>
	午後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・響灘洋上ウインドファーム等の見学(船上から見学)</li> <li>・グループワーク</li> </ul>
2日目 (9/1)	午前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義3 風力発電の基礎から産業動向について (一般社団法人日本風力発電協会)</li> <li>・講義4 洋上風力発電事業の取組みについて (ひびきウインドエナジー株式会社)</li> </ul>
	午後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洋上風力発電関連企業の見学、意見交換</li> <li>・グループワーク</li> </ul>
3日目 (9/2)	午前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義5 金融面から見た洋上風力発電事業の課題と期待 (株式会社日本政策投資銀行)</li> <li>・講義6 洋上風力発電におけるメンテナンスの現在と将来展望 (株式会社北拓)</li> </ul>
	午後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義7 風力分野において数値風況予測技術が果たす役割とは (九州大学 教授 内田 孝紀)</li> <li>・講義8 洋上風力発電事業による地域活性化 (東邦大学 准教授 竹内 彩乃)</li> <li>・グループワーク</li> </ul>
4日目 (9/3)	午前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義9 海洋空間の管理と洋上風力 (東海大学 教授 脇田 和美)</li> <li>・講義10 洋上風力発電のプロジェクトマネジメント (日揮株式会社)</li> </ul>
	午後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洋上風力発電関連企業の見学、意見交換</li> <li>・グループワーク</li> </ul>
5日目 (9/4)	午前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果報告会</li> <li>・午後、解散</li> </ul>

※プログラムや講義のタイトル・講師は変更となる可能性がありますのでご了承ください。

## 募集要領

### 1 研修の目的

洋上風力発電の普及には、社会構造の変化を見据え、多角的な視点で新たな枠組みを構築できる人材の育成が急務です。

そこで、北九州市では、次世代を担う全国の学生（大学・大学院・高専）を対象に、産学官連携による洋上風力発電の研修を開催します。

### 2 開催概要

- (1) 会場 北九州市立大学小倉サテライトキャンパス 等
- (2) 日程 令和8年8月31日（月）～9月4日（金）
- (3) 主催 北九州市
- (4) 共催 北九州市立大学、福岡県風力発電産業振興会議（予定）
- (5) 対象者 大学生・大学院生・高専生（本科4年生以上）
- (6) 形態 宿泊研修（北九州市内・市外の方を問わず宿泊を原則とします。宿泊費無料）

### 3 受講対象者

以下の条件をすべて満たす学生。

- ・ 洋上風力発電に関心があること。
- ・ 研修参加について、所属大学または高専の指導教員等からの推薦を受けられること。
- ・ 利用施設等が定める規定（服装、安全規定等）を遵守できること。
- ・ 応募時点で日本国内の大学、大学院、高専に在籍し、日本語での受講に支障がないこと。
- ・ 研修の広報を目的として、プログラム中の様子を含む個人情報（所属、氏名、写真、感想等）をウェブサイト等で公開することに同意できること。
- ・ 本研修に係るアンケート調査等に協力できること。
- ・ 北九州市立大学が行う「北九州市洋上風力キャンプ×SDGs アルムナイ」に参加できる。

※「北九州市洋上風力キャンプ×SDGs アルムナイ」では、風力発電関連イベントのお知らせ、風力発電関連企業に係るお知らせ、本研修終了後の進路調査等を行う予定です。

### 4 募集人数

30名程度（大学生、大学院生、高専生（本科4年生以上））

## 5 応募方法

下記の北九州市ホームページ内の応募フォームよりお申し込みください。  
[https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/003\\_00001.html](https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/003_00001.html)



## 6 募集期間

令和8年5月15日（金）～6月30日（火）

## 7 選考方法

応募者数が定員を超えた場合は、志望理由、地域、専門分野（学部・学科）、学年等を総合的に判断して選考を行います。なお、選考に漏れた場合でも、オンラインによる研修（講義のみ）への参加が可能です。

## 8 研修の際の注意事項

洋上風力発電関連企業の見学や、船舶による洋上見学を予定しています。

- ・ 服装：運動靴、汚れても構わない服装、タオル等を持参してください。  
※ヒールの高い靴やサンダル等は不可
- ・ 医薬品：酔い止め薬等の医薬品が必要な方は、各自でご用意ください。

## 9 参加費用等

### （1）費用負担

- ・ 受講費：無料
- ・ 宿泊費：無料（主催者が手配する宿泊施設に滞在いただきます。）
- ・ 交通費：集合場所までの往復交通費は自己負担となります。
- ・ 傷害保険料：原則として北九州市が負担します。

### （2）宿泊について

居住地により、チェックイン日が異なります。詳細は受講決定後に改めて通知します。

（北九州市内の方）

8月31日（月）チェックイン ～ 9月4日（金）チェックアウト（4泊）

（北九州市外の方）

8月30日（日）チェックイン ～ 9月4日（金）チェックアウト（5泊）

## 10 GLOBAL OFFSHORE WIND SUMMIT JAPAN 2026 について

令和8年10月13日(火)～15日(木)に長崎県長崎市で開催される「GLOBAL OFFSHORE WIND SUMMIT JAPAN 2026」のサブイベントにて、本研修の成果を報告する機会を設ける予定です。また、無料ゾーンの展示やセッションの見学に加えて、産業界の若手との交流会も予定されています。

参加希望者の募集は本研修期間中に行います。募集人数や日程(1泊想定)、宿泊費及び交通費の補助などの詳細は、受講決定後に通知します。ただし、諸般の事情により募集を見送る(中止とする)場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 11 研修の中止等について

研修期間中であっても、地震・台風などの天災により安全な実施が困難と判断される場合は、プログラムを中止または内容を変更することがあります。

## 12 問い合わせ先

本研修に関するお問い合わせは、下記アドレス宛に電子メールにてご連絡ください。その際、メールの件名は「【大学・高専向け】洋上風力発電研修に関する問い合わせ」としてください。

- ・ 担当：北九州市 環境局 総務政策部 環境学習課
- ・ Eメール：kan-gakushu@city.kitakyushu.lg.jp

### 会場へのアクセス

北九州市立大学 小倉サテライトキャンパス(北九州市小倉北区浅野1丁目1-1)

◆JR・北九州モノレールでお越しの方

小倉駅で下車(小倉駅直結)

◆バスでお越しの方

西鉄バス小倉駅バスセンターバス停で下車(高速バス・路線バスとも小倉駅アミュプラザ前の小倉駅バスターミナルで下車してすぐです。)



## ～ 参加した研修生の声 ～

### ○講義:多角的な視点で学ぶ

- ・ 経済・法律・地域社会・海洋・金融・政策など、専門外の分野を体系的に学ぶ貴重な機会となりました。
- ・ 第一線で活躍する講師陣から学術への基本姿勢を学び、自身の研究に邁進する糧を得ることができました。

### ○見学:現場のスケールとリアリティを体感

- ・ 洋上ウインドファームの壮大さと、多様な専門性が結集して課題を解決する現場の熱量を肌で感じました。
- ・ 通常は立ち入れない企業の拠点や響灘の現場を訪れ、運用・保守(O&M)の実態を深く理解できました。
- ・ 間近で風車を見ることで、国内の洋上風力発電が「現実」として進展していることを強く実感しました。

### ○グループワーク:多様な仲間との協働

- ・ 異なる専門を持つメンバーとの議論を通じ、新たな視点を得るとともに協働の重要性を再認識しました。
- ・ 探究心の強い仲間と5日間語り合い、非常に有意義で刺激的な時間を過ごすことができました。

#### これまでに参加した研修生の所属大学・高専(五十音順)

秋田大学、秋田県立大学、上智大学、北九州市立大学、九州大学、九州工業大学、  
京都大学、近畿大学、佐賀大学、千葉大学、中部大学、東海大学、東京理科大学、  
東邦大学、長崎大学、長崎総合科学大学、奈良高専、西日本工業大学、弘前大学、  
横浜国立大学、早稲田大学